

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	東成区
学 校 名	大阪市立片江小学校
学校長名	中谷 和博

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立片江小学校では、第6学年102名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数とも、正答率は大阪市・大阪府・全国を下回りました。今年度の6年生は、これまでの「大阪市学力経年調査」の結果を見ても、正答率が大阪市平均を下回っていました。

国語は対全国比0.87、算数は対全国比0.91でした。

特に、全国の児童全員の正答数分布の状況から、正答数の高い順に概ね25%区切りで、区分Ⅰ、区分Ⅱ、区分Ⅲ、区分Ⅳの4つに分けた「四分位区分」では、国語・算数とも全国平均の区分Ⅰに当てはまる児童の割合が少なく、区分Ⅳにあてはまる児童の割合が多くなっていて、学力の低位層が多いことがわかります。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」や、「(3)我が国の言語文化に関する事項」は、対全国比0.9以上あります。一方、「(2)情報の扱い方に関する事項」は対全国比0.85、「A 話すこと・聞くこと」は対全国比0.80と大きな開きがあります。回答形式では「記述式」が対全国比0.83と低い値を示しています。

〔算数〕

「C 変化と関係」については、全国平均とほぼ同じ正答率でした。一方で、「B 図形」の領域は対全国比0.88、「D データの活用」の領域は対全国比0.82と低い値を示しています。また、自分の考えを文で表す「記述式」の回答形式は、対全国比0.87と低い値を示しました。

これらのことから、データや情報をもとにして、自分の考えを持ち、それを文として表現することに大きな課題が見られます。

質問調査より

自己肯定感や自己効力感、自己有用感に関しては全国平均よりも高い値を示しています。

家庭生活においては、ゲームを行っている時間や、SNSや動画視聴の時間が長い児童が多いことがうかがわれます。ゲームやSNS、動画においては、そこに現れる文章表現は、映像を伴って短く表現されているものが多く、直感的に「わかる」ため長文や複数の事象を組み合わせる考えなければならない文章に対しては、「わかったつもり」にはなっていますが、実際には「わからない部分が見つからない」という現象に陥っている児童もいると考えられます。

昨年度までの学習活動では、ICTの活用があまり重要視されてきませんでした。

今後の取組(アクションプラン)

これからの学習においては、「知識の理解」、「技能の習得」にとどまるのではなく、ICTを活用してビッグデータから、自分の意見を構築するための材料を見つけ出し、組み合わせたり、批判的思考を用いたりしながら、適切に文章として表現していくことが必要不可欠です。

本校においては国語科の学習では、「我が国の言語文化に関する事項」の取り組みにとどまらず、「情報の扱い方に関する事項」を重視します。また、算数科の学習においては、答えを導きだすための「データの活用」を重視、そこから導き出された考えを適切に文章で表現することができるようしていきます。

そのためにも、21世紀の文房具である一人一台端末（タブレット）や、パソコンの活用をすべての児童が行っていくことができるように、一人一人の教員が取り組むようにしていきます。